

データ共有 こぼれし



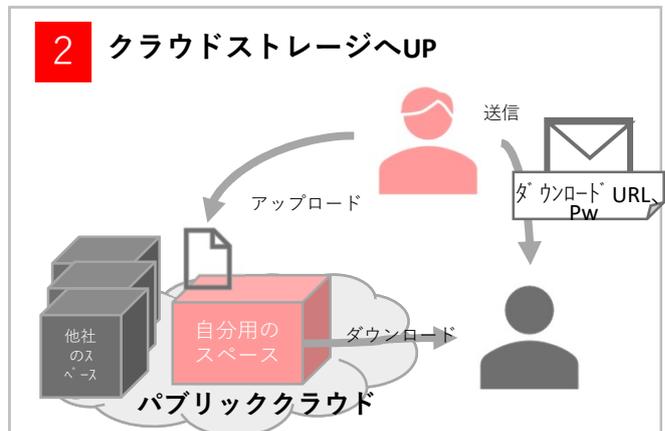
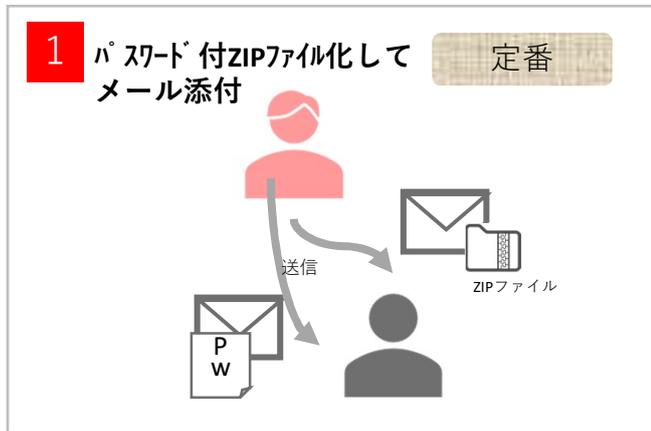
クラウドストレージってデータ共有で最近よく使う人が増えているよね。

そうなんじゃよ。今までは、メールにデータを添付することが多かったもののクラウドストレージを利用したりと方法の幅が広がってきているんじゃないよ。特徴を見てみよう。



データを共有するよくある方法（今まで）

下記のように、パスワード付のzipファイルをメールに添付をしたり、クラウドストレージという方法があります。しかし、セキュリティ面・使い勝手・料金面で一長一短があります。



セキュリティ面



- ↓ ZIPファイルは、メールサーバのウイルスチェックをすり抜けてしまう
- ↓ ZIPのパスワードが脆弱で破られやすい



- ↓ メール通信経路で盗聴される場合、同じ宛先に別々に2通送ったところで両方結局盗聴される可能性がある



- ↓ 公開設定の誤操作の可能性。意図しない範囲に公開する可能性はある



- ↑ 行動ログが残せるのでデータの持ち出し行為も状況を追やすい



- ↓ サービス提供事業主等の第三者にデータを活用される（統計データや、キーワード検索等）

使い勝手面



- ↓ 送れるファイル容量に制限がある



- ↓ 一度送信したら取り消せない
・ファイルが手元にずっと残る

- ↓ 送信側・受信側共に手間がかかる



- ↑ 大きな容量のファイルもUPできる。



- ↑ ダウンロードリンクを無効にできる

- ↑ ダウンロード期限の制限ができる

料金面



- ↓ 費用：メールサーバ代



- ↓ ユーザごとに課金：社外パートナーや取引先増加が直接課金に繋がる

▼ とくじでは！？ ▼

＼とくじではさらに！／ ＼プライベートクラウドだから！／

セキュリティ面

-  **↑公開時に必ずパスワードが設定される！**
公開設定ミスによるリンクさえ知っていれば誰でもアクセスできてしまう事故を防ぐことができます。
-  **↑データは完全にお客様のもの！**
プライベートクラウドなので、システム名義もデータもお客様のもの。パブリッククラウドのクラウド事業者が保管されているデータを統計利用するような権利はありません。

料金面

-  **↑ユーザは無制限！**：社外パートナーやお取引先者数が増加しても柔軟に増やすことができます。
- ↑ドライブの拡張よりもお得！**
保管がメインの使い方であればお得な容量課金！



＼パスワード付ZIPメール(PPAP)こぼれし！／

パスワード付ZIPメール（俗称：PPAP）は非推奨だった！

- 2020年11月17日：平井卓也・デジタル改革担当大臣が中央省庁でパスワード付ZIPの使用を廃止する方針を打ち出す。
- 2020年11月24日：同月26日から内閣府、内閣官房で廃止



パスワード付ZIPメールを受信しないと公表する企業も！

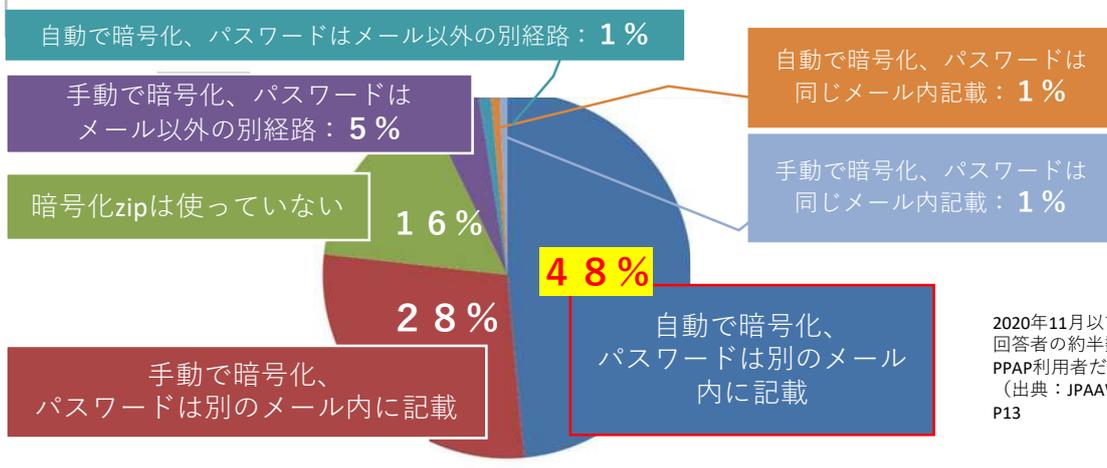
- 2020年11月18日：クラウド会計システム「Free」がパスワード付ZIPメールを受信しない方針を発表。（メールサーバで受信時に自動的に削除される）

PPAPは普及率が高いことがわかる。

俗称としてPPAPと呼ばれているんじゃ。
Password付きzipファイルを送ります、
Passwordを送ります、
An号化（暗号化）
Protocol（プロトコル）



2020年11月以前において、PPAPを含んだ暗号化zipを利用してメールを送っていましたか（N=754）



約半数の人が使っていたんだね！



2020年11月以前には回答者の約半数がPPAP利用者だった（出典：JPAAWG）
P13